

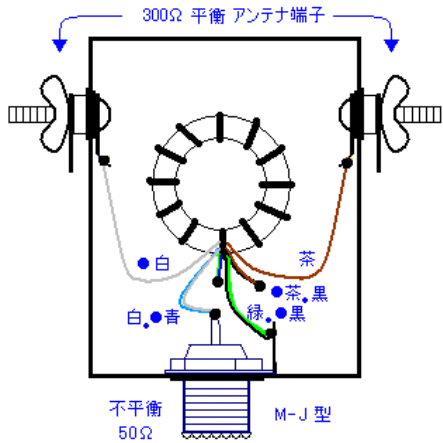
アンテナバラン 組立部品セット DB-300H-v2

50Ω 不平衡 : 300Ω 平衡 1MHz~30MHz
 許容入力電力 : 連続 100W / CW 200W / SSB 300W
 サイズ50W×75H×30Dmm(突起物を除く) 重量 約 120g

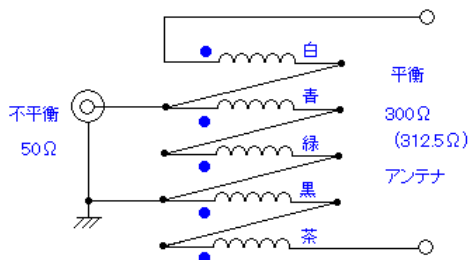
||||| 50Ω : 300Ω (312.5Ω) バランの作り方 |||||

- ①、0.65mm5本組被膜線を、コアに、12回巻きます
- ②、巻き始めと、巻き終わり、端末配線の通り配線し、半田付けします
(結線のジョイント2ヶ所はテープなどを巻いて絶縁しておく)
- ③、プラボックスにボルトナットM-BR(M型座)を取り付ける
- ④、巻いて作ったコアを、構成図のように、ボックス内に収めて結線半田付けします
- ⑤、接着剤などで、端子等をかためて、フタをして完成です

構成図

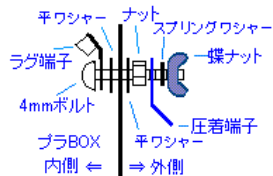


回路図

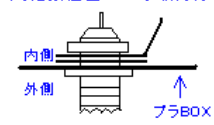


巻き数比=2:5
 インピーダンス比=4:25 = 50Ω : 312.5Ω

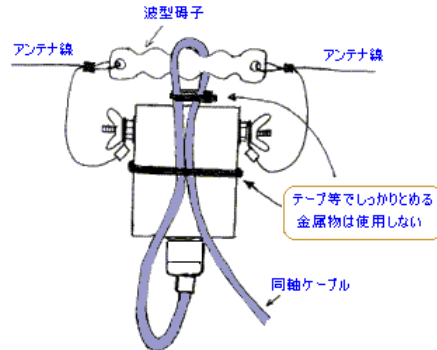
アンテナ端子取付方法



同軸接座MBRの取付方



バラン取付方法

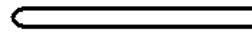


部品表

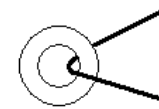
フェライトコア 2643801002---1
0.65mm 5本組被膜線---55cm
M型接座座 M-BR---1
ステンボルトナットワッシャー 蝶ナット、ラグ端子---2組
プラボックス---1
波型端子---1
結束バンド---2

コアの巻き方

1. 0.65mm 5本組被膜線を
半分ほどで折り返します



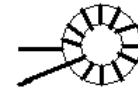
2. 0.65mm 5本組被膜線を
コアに約半分の長さで通します



3. 半分の0.65mm 5本組被膜線を
6回巻きます (コア内通過数)

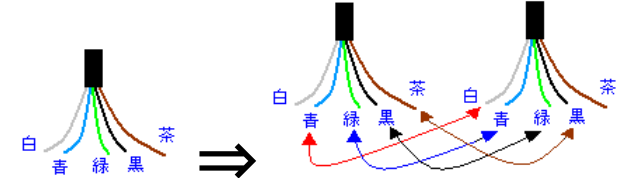


4. もう半分の 5本組被膜線を図のように
同様に6回巻きます (コア内通過数)

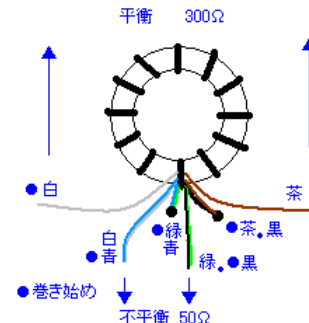


合計12回巻きます

5. 端末配線
5本組被膜線の両端を、下図のように
巻き始め、巻き終わりを、配線結線し、ねじり合わせます



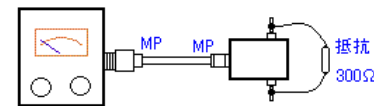
6. 結線ジョイント2ヶ所はテープなどを巻いて絶縁します
(●黄・緑線と、●茶・黒/紫・赤線)



コア完成例



SWR測定方法



アンテナ SWR計
アナライザー など

バラン

抵抗は短く接続します
(コアに直に接続した方が測定誤差は少ない)

株式会社 大進無線

〒410-0022 沼津市大岡 2223-14
 TEL 055-925-4961 FAX 055-925-4962

URL <http://www.ddd-daishin.co.jp/>
 E-mail info@ddd-daishin.co.jp